



動態調査 札幌など4市で増加

# 札幌圏に人口集中

総務省が発表した1月1日時点の住民基本台帳に基づく人口動態調査で、札幌市の日本人人口は前年から2388人増え、194万4357人となった。増加数は過去20年で最少だった前年を454人上回った。日本人人口が増えた道内自治体は札幌、江別、恵庭、千歳の4市のみで、各地から札幌圏に人が集中する傾向が続いている。

(平岡伸志)

札幌市内では中央(2529人増)、西(1704人増)、豊平(891人増)、白石(359人増)の4区で人口が増えた。再開発やマンション建設が進む中心部や地下鉄沿線などで人口増が進む。南区(1054人減)、清田区(1026人減)で減少幅が大きく、今回は北区(164人減)も減少に転じた。転入と転出の差「社会増減」で、札幌市は市区別全国5位の9326人増。一方、出生数から死亡数を差し引いた「自然増減」も全国3位の6938人減で、高齢化が顕著になっている。市企画課は「道内からの転入超過は1万人強で推移しているものの、増加幅

は縮小傾向が続いている」とする。

国の将来推計人口によると、札幌市の人口は2025年をピークに減少へ転じる見通し。19年の市内の出生数は1万3千人を割り込むなど少子化が加速しており、さらなる子育て対策の充実が求められそうだ。

前年比508人増の11万8887人となった江別市では、社会増が1105人と伸びた。市政推進課は「大麻、野幌地区などで宅地開発が進み、市の住宅購入補助や子ども向け施策が奏効している」とみる。

同369人増の人口9万6751人だった千歳市は管内で唯一、自然増減がプラスだった。市は「切れ目ない子育て支援や、企業誘致などの相乗効果が生まれている」とみている。

石狩管内の日本人の人口 (1月1日時点)

市町村	人口	自然増減	社会増減	前年比
札幌市	1,944,357	▲6,938	9,326	2,388
中央区	235,291	▲607	3,136	2,529
北区	282,677	▲996	832	▲164
東区	259,939	▲670	553	▲117
白石区	211,964	▲410	769	359
豊平区	221,862	▲527	1,418	891
南区	135,844	▲1,133	79	▲1,054
西区	215,971	▲547	2,251	1,704
厚別区	126,510	▲676	189	▲487
手稲区	141,413	▲768	521	▲247
清田区	112,886	▲604	▲422	▲1,026
江別市	118,887	▲597	1,105	508
千歳市	96,751	49	320	369
恵庭市	69,552	▲300	420	120
北広島市	57,889	▲341	▲96	▲437
石狩市	57,822	▲396	267	▲129
当別町	15,707	▲142	▲114	▲256
新篠津村	3,026	▲64	▲5	▲69

※単位は人。前年比は自然増減と社会増減を加減したもの。▲はマイナス

①札幌市の人口は、1年前に比(くら)べて増(ふ)えていますか、減(へ)っていますか。

②札幌市は4区で人口が増(ふ)えていました。さて、その4区とはどこですか。

--	--	--	--

③少子化が加速(かそく)している札幌市では、どのようなことをしていくことが求(もと)められていますか。